

2021年
4月誕生

VISION 2025

アドバンスト・リベラルアーツ ADVANCED LIBERAL ARTS

対象 全大学院生

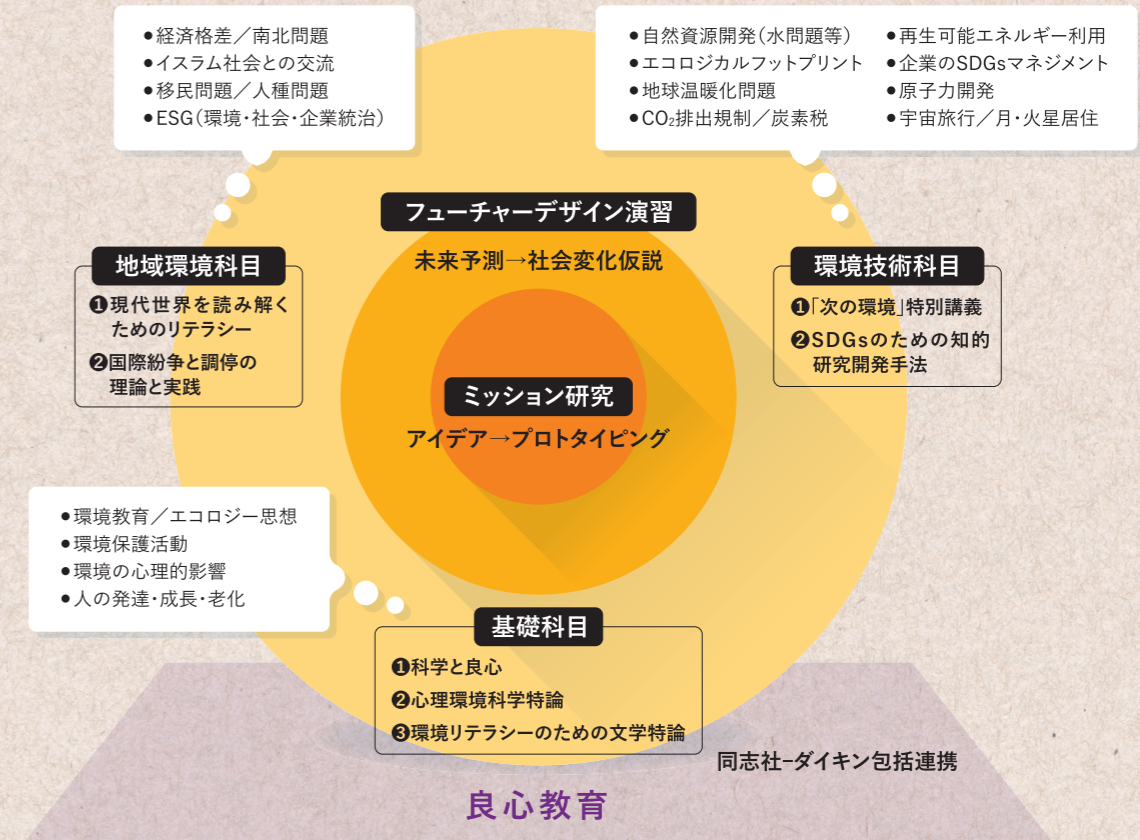
多様化する現代社会の課題解決に求められる、サイエンスを運用する倫理=良心。それは、リベラルアーツ教育に影響を受けた新島襄が到達点として目指してきた「知識を運用する品性と精神」に他なりません。分野横断的に物事を見る視点、そして柔軟な創造力・提案力を涵養し、これからの世界を担う大学院生の学びを加速します。



「次の環境」協創コース

対象 全大学院生

自然科学と人文・社会科学を融合した観点から、環境問題の抜本的な解決を図ることで実現する新しい世界像。そういった未来の社会づくりを目指すのが「次の環境」協創コースの学びです。空調機メーカーとして、グローバルに事業展開するダイキン工業株式会社と協定を締結。大学及び企業の壁を越えた「協創」を軸とする「組織」対「組織」の連携体制により、社会人のビジネス感覚と学生の斬新な発想が融合し、イノベーションと個人の成長を創出する新たな場が誕生します。



POINT

- ◆ 「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」の関連科目を学生とダイキン社員が共に受講。様々な学問的背景を持つ、学生、教員、社会人等多様性にあふれた環境で学ぶユニークなプログラム。
- ◆ 人文・社会科学から自然科学までを網羅したカリキュラムで新たな視点、感覚を涵養。
- ◆ 社会人と自由に対話し、未来社会にふさわしい人類のあり方と新技術を協創するフューチャーデザイン演習。
- ◆ フューチャーデザイン演習で生まれたアイデアを基に、具現化・社会実装を目指すミッション研究。

科目紹介

▶ 基礎科目 (選択必修:1科目2単位)

環境に関する倫理の問題や、ヒトの発達・生理・心理に及ぼす環境の影響など、従来は十分顧みられなかった環境問題を取り上げ、視座を拡大します。

開設科目	● 科学と良心「次の環境」を考えるために ● 心理環境科学特論 ● 環境リテラシーのための文学特論
------	---

▶ 環境技術科目 (選択必修:1科目2単位)

再生可能エネルギーから火星居住まで幅広い事例に即し、commons(社会共通資本)の思想を学び、持続可能な経済開発に資する技術革新やその開発手法を追求します。

開設科目	● 「次の環境」特別講義 ● SDGsのための知的研究開発手法
------	------------------------------------

▶ 地域環境科目 (選択必修:1科目2単位)

多文化共生を考えるうえで重要な宗教・文化・社会制度について、イスラム圏を事例として学びます。意識変革の重要性や、グローバルなビジネス展開に伴う課題と解決指針について考察します。

開設科目	● 現代世界を読み解くためのリテラシー ● 国際紛争と調停の理論と実践
------	--

▶ フューチャーデザイン演習(必修科目)・ミッション研究

自然・人文・社会科学的な手法で環境に関する主要課題を抽出し、将来世代の視点に立った技術アイデアを構想。新技術のプロトタイプングを行います。生み出したアイデアを基に、学内外の研究機関・企業等との共同研究に取り組んで社会実装を目指します。

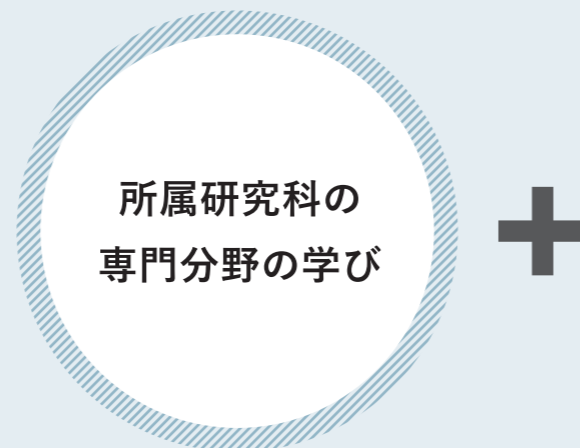
世界に必要とされる「社会イノベーター」を養成する同志社リベラルアーツの新たなカタチ

アドバンスト・リベラルアーツとは

アドバンスト・リベラルアーツとは、“良心”を精神的支柱とした、本学独自の新しい大学院教育プログラムです。専門分野だけにとらわれない広い視野と、知識を運用する高い品性と精神を涵養するリベラルアーツ教育。その流れを汲みながら、時代に対応した先端的な教育へとアップグレードしました。社会構造が複雑化し、解決すべき問題が高度化する現代において、真に活躍・貢献できる人物を育成します。

大学院というキャリアの新たな形

これまでの大学院教育では、学部で学んだ内容を専門的に深める形が一般的でした。しかし、技術の高度化やグローバル化が進み、ますます複雑で予測不可能となる社会に対応するためには高度な専門性だけでなく、分野を横断する複眼的な視点が必要です。アドバンスト・リベラルアーツ科目では1つの領域にとどまらない知識やスキルを涵養。社会で実用的な能力が身につく、大学院修了後の進路や活躍の場が広がります。



アドバンスト・リベラルアーツ科目群

GRM提供科目

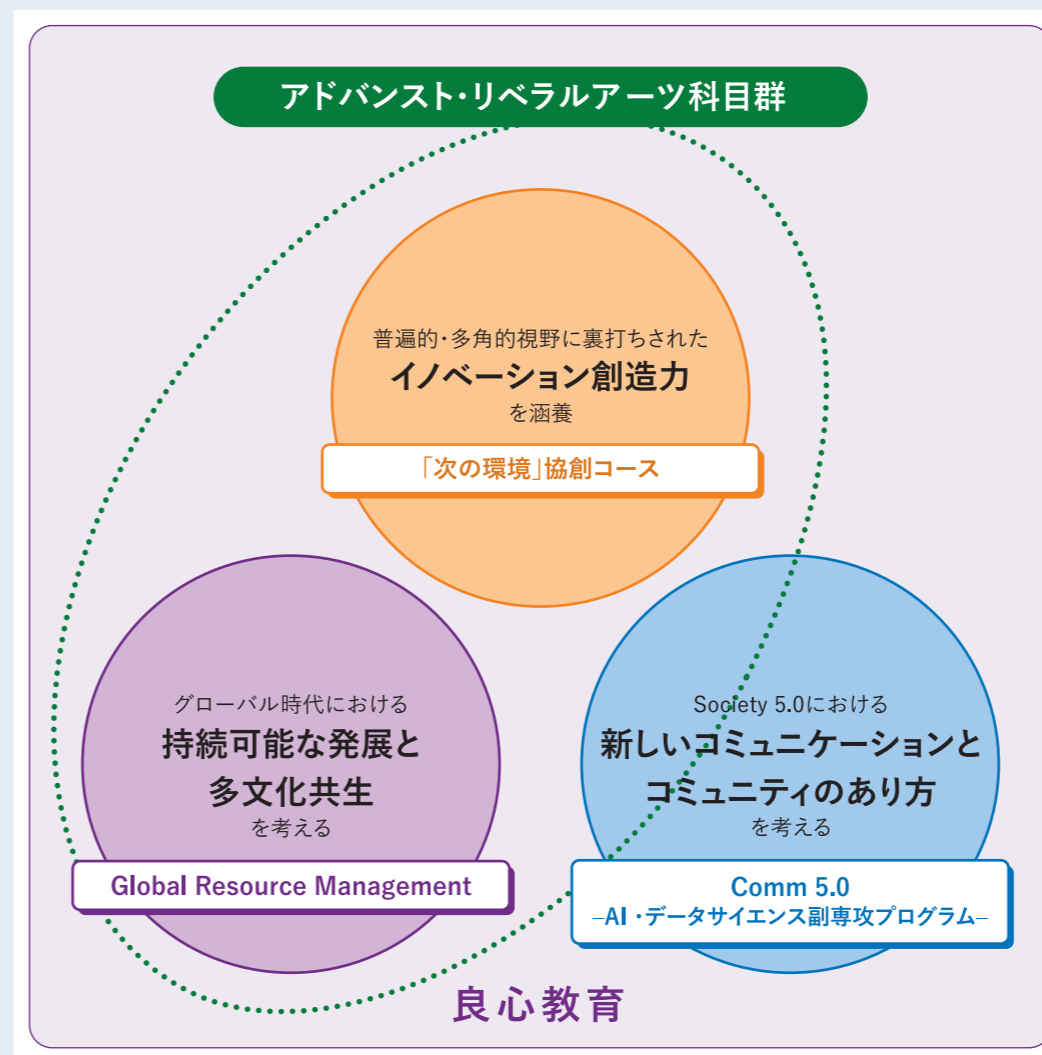
- Resource Management for Coexistence and Cultural Diversity
- Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works
- Group Work Practice I (Multi-perspective approach on complex problem)
- Group Work Practice II (Basic procedures of research projects)

Comm 5.0提供科目

- 科学と良心
- 心理環境科学特論
- セルフアウェアネス(コーチング入門)

「次の環境」研究センター提供科目

- 科学と良心
- 心理環境科学特論
- 環境リテラシーのための文学特論
- 現代世界を読み解くためのリテラシー
- 国際紛争と調停の理論と実践
- 「次の環境」特別講義
- SDGsのための知的研究開発手法
- フューチャーデザイン演習
- ミッション研究I・II



「社会イノベーター」へ

普遍的な見方から全体像を捉える能力
俯瞰力

文系理系・分野を越えた複数の深い専門知を組み合わせながら事象にアプローチできる能力
総合力

未来を読み解く視座
創造力

良心を支柱に人間社会の将来のあり方を模索
提案力

Global Resource Management (GRM)

国際社会が抱える問題の背景には、資源やインフラ(=リソース)の不均衡があります。このリソースを安定的に分配し、持続可能な発展の可能性を探ることが、多文化共生社会の実現に繋がります。GRMでは、資源・エネルギーに関わる自然科学・理工学的知識と、多文化共生に関わる人文・社会科学的知識を統合した「文理融合」の視点と、他者との協働能力を養成。次世代のグローバル・リーダーに必要な力を身につけます。



開講科目 Pick Up

• Resource Management for Coexistence and Cultural Diversity

「資源」の適切な開発や管理によって諸問題を解決し共生社会の実現を目指すという、GRMの理念を共有する科目です。講義では「資源」についての考え方を示し、そこから起こりうる問題について説明を行います。

• Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works

- Group Work Practice I
- Group Work Practice II

Comm 5.0

大量生産・消費型のグローバル社会は、ヒトとモノ、ヒトとヒトの間に分断を生じさせました。これからのAI・データサイエンスの時代においては、それらの新たな関係性を模索・再構築する必要があります。Comm 5.0とは、Society 5.0における、ヒトとモノ、ヒトとヒトの「繋がり」、すなわちこれからのCommunicationのあり方やCommunityの形成を意味します。本プログラムでは、先端的な情報工学知識・技術の獲得や思考力・判断力の習得を通じて、多様な価値・イノベーションを創造する人物を養成します。



開講科目 Pick Up

• 科学と良心

同志社教育の原点である「良心」の視点から、自然科学及び人文・社会科学の壁を越えて「倫理と環境」に係る問題を抽出し、その本質を明らかにします。特に、「分野を越えた議論ができる楽しさ」を感じてもらうために、知識のインプットを行うだけではなく、ディスカッションの機会を設けることで学びの成果を確認し、理解を深めます。

• 心理環境科学特論

- セルフアウェアネス(コーチング入門)